



洛北高校附属中通信No.15  
平成29年度秋号（10月13日発行）

## 教えることのできない何かを学ばせる場

校長 山本 康一

保護者の皆様には、日頃から本校教育の推進に格別の御理解・御支援をいただき、ありがとうございます。

夏休み以後にも、附属中学校の生徒諸君は、多くのことを学び、個々の力を発揮し成果をあげてくれています。科学の甲子園ジュニアでは今年も全国大会へ出場することになりましたし、少年の主張京都府大会では、京都府予選会に残った学校の中で最も多くの人数が発表し、好評を博しました。

特別講演では、ノーベル物理学賞受賞者の梶田隆章先生から、基礎研究を粘り強く続けることが新たな発見につながることを伺い、また作曲家の三枝成彰先生からは、西洋音楽が数理的な秩序の上に成り立ち、楽曲を正確に書き留める楽譜があったからその後も芸術的な変革を続けることができたという西洋音楽の歴史の要諦を伺いました。洛北サイエンスでは、京都大学の倉田博基教授、京都地方気象台の気象情報官の平尾龍一先生から専門的なお話を伺いました。いずれも、子どもたちは知的好奇心を大きく刺激されたことと思います。今後も、本物に触れ、「ふしぎだと思ふ」体験をさせ、「よく観察してたしかめ、そして考える」とともに、書く・話す・発表するなどの活動を通して、知識の理解や頭の中で思考したことなどを外化する、主体的・対話的で深い学びを実践してまいります。

さて、衆院選の実施が報道される中、中高の全校生徒が一堂に会する始業式で、満18歳にまで投票権が拡大されたことの重み、満18歳になるまでに成長と成熟が必要なことなど、よりよい主権者になることについて話しました。

子どもたちには、相互依存の関係にある社会において多くの人が幸せになるために、人間としての在り方・生き方を常に考え、言葉によって理解し、他の人を説得し、また自分もより高次の考え、納得解を求められるようになってほしいものです。

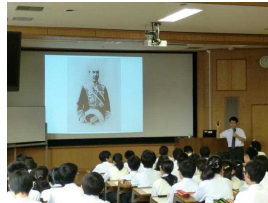
他の人を大切に思うためには、自分自身も大切な存在なのだという自己有用感を持つことが重要です。それが他の人をも含めた一人ひとりの人間は掛け替えのない存在であるという認識に広がっていきます。そして、社会を支えているお互いに対して、能力や職業や収入に関わりなく、敬意が生まれます。

早咲きの花、遅咲きの花、地味でも実りある花など個性は千差万別です。大人は、花の優劣にとらわれるのではなく、子どもの可能性や存在そのものに目をやり、長い人生を生ききる礎を築かせたいものです。全てのことを教えきることはできません。家庭や学校は、教えることのできない何かを学ばせる場でもあります。

本校が生徒たちが夢に向かって努力できる学校であるために、一層充実した教育活動を進めてまいりますので、引き続き、本校教育への御理解・御協力をよろしくお願い申し上げます。

## 各学年の様子

### 【中1】京都学・歴史館との連携事業



夏休みに見学した企画展示「京都を彩る人々」にかかわり、道徳特別授業を行いました。

### 【中2】「暦の不思議を探る」



京都地方気象台の方による特別講義。11月には天文台への校外学習もあります。

### 【中3】幼稚園訪問



和気藹々の雰囲気の中で、手作りおもちゃなどを用いて、園児と交流を行いました。

### 【中3】ロボットプログラミング



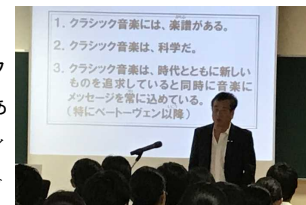
NPO法人関西コアネットの御指導のもと、自動走行型ロボットを作りました。

## 未来を奏でる教室



作曲家の三枝成彰氏が、中3生自らピアノやCDを活用され、クラシックについてお話をされました。文化庁後援のこの事業は、クラシック音楽に親しみ、情操を育むよい機会になりました。

※右は、「クラシック音楽には、楽譜がある」等、授業のポイントを表すスライド



## 防災教育に関わる学習

本校では、様々な関係機関と連携した防災学習を進めています。下記はその一部です。



- 左京消防署（10/13）  
中2対象の救命講座（心肺蘇生法）
- 京都市市民防災センター（11/25）  
中1対象の様々な体験プログラム
- NPO法人災害救助犬ネットワーク（2/5）  
全学年対象の講演会「災害救助犬の活動について」

## 教育情報

公益財団法人「日本体育協会」は、平成30年4月1日より、名称を「日本スポーツ協会」に変更します。「スポーツ」を継承すべき人類共通の文化ととらえ、「体育」を包みこむ言葉として「スポーツ」を用いるとのことです。

### 【「スポーツ」にかかわる他の動き】

- 2015年 スポーツ庁の創設
- 上記法人が、「国民体育大会」（国体）から「国民スポーツ大会」への名称変更案を承認（スポーツ基本法の改正をうけて対応する予定）
- 国民の祝日である「体育の日」を「スポーツの日」に改称する法律改正案の提出の動きあり（新聞報道）



「ス」と「人」をベースにデザインされたシンボルマーク

# 《10月～12月の目標》

## 健康に気を付け、秋を楽しむゆとりを持とう!



### 主な行事予定



### 生徒指導部より

【10月】

14日(土) 駿台模試(中3希望者)
18日(水) 学校交流(中3)
20日(金) 漢字検定
21日(土) 土曜学習
23日(月) 学力推移調査
25日(水) 京都府学力診断テスト(中2)
28日(土) 入試説明会

【11月】

1日(水) 研修旅行前健康相談
10日(金) 生徒会本部役員選挙
11日(土) 授業参観等
13日(月) 代休日
15日(水) 創立記念日
18日(土) 土曜学習(中2) (京都大学総合博物館)
22日(水)～27日(月) オーストラリア研修旅行(中3)
24日(金) “東山”フィールドワーク(中2)
25日(土) 土曜学習(中1) (京都市市民防災センター)
27日(月)・28日(火) 代休日(中3)

【12月】

2日(土) 土曜学習(中3)
4日(月)～6日(水) 12月考査(中1・2)
6日(水) 地域清掃ボランティア
11日(月)～19日(火) 教育相談期間(平日)
16日(土) 授業日
20日(水) 授業終了日、大掃除等
21日(木)、22日(金) 冬期スクール

※ 洛北サイエンスにつきましては、別途、御連絡いたします。

### 後期スタートにあたって ～健やかな成長のために～

文化祭に、三者面談が終わり、前期の成果と課題を持って、後期は、学習や部活動など、学校生活の中で、さらに充実した期間となっていきます。とくに体育祭や研修旅行、総合的な学習の時間の取組を中心に、友達と協力して向上する喜びや、目標と課題を持って学ぶことの意義を体感できる絶好の時期だと考えています。

物事に真剣に『打ち込む』時に、人間は能力を高めると、自分自身の経験からもそう考えています。しっかり『打ち込める』ためには、ねばり強さや集中力、決断力も必要です。

後期も、1人1人の生徒が意欲と関心を持ってじっくりと『打ち込む』絶好のチャンスを生かして欲しいと願っています。そのためには、1人1人の生徒の心身の健康や思いやりや責任感が欠かせません。今の学習環境に甘えることなく、高い自覚と目標を持って、日々心身を鍛練する学校生活を過ごしてほしいと思います。

保護者の皆様には、9月末の三者面談では、お忙しい中、御来校いただきありがとうございました。引き続き、本校の教育活動に対しまして、温かい御理解とお力添えをよろしくお願いいたします。

## 祝 全国大会等での活躍

### 【参議院70周年記念論文表彰式】

優秀賞に選ばれた本校の中2生徒を含む12名が参議院に招かれ、表彰式が行われました。論文は、参議院のホームページで閲覧できます。



### 【第14回文部科学大臣杯小・中学校囲碁団体戦】 【第38回文部科学大臣杯少年少女囲碁大会(個人戦)】

団体戦では6位に入賞、個人戦では中3生徒が5位に入賞しました。団体戦は3年連続の入賞です。

### 【第5回科学の甲子園ジュニア全国大会】

京都府の予選会で本校のチームが準優勝。府内の他の学校とチームを組んで全国大会に出場します。本校は5年連続の出場です。

## 《今後の市秋季(新人)大会のお知らせ》 奮い立て! 洛北附属

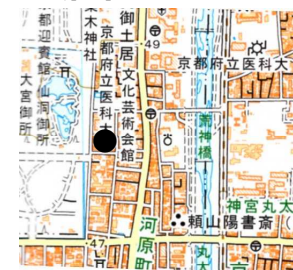
男子テニス部	10/28～29、11/3～5、11/11(予備日) 同志社中(全日)、京都国際中(10/29)
女子テニス部	10/28～29、11/3～5、11/11(予備日) 同志社女子中(全日)、京都国際中(10/28、11/4)
剣道部	10/15 修学院中、10/28 桃山中、10/29 岡崎中
女子バレーボール部	10/15 七条中
男子バスケットボール部	10/15 下鴨中、10/28 加茂川中 10/29・11/3 横大路体育館

具体的な日程や会場については、各部で必ず御確認ください。

## 《他の部の動き》

陸上競技部	10/15 京都市中学校駅伝大会(嵐山東公園) 11/5 京都府オータムカップ(太陽が丘)
吹奏楽部	10/22 駅ビルコンサート(京都駅)
囲碁・将棋部	10/22 京都選抜中学校将棋大会団体戦(京都文教中)

## 《“洛北”ゆかりの地》



国土地理院「京都東北部」より作成

京都府中学校は、府知事(北垣國道氏)の意向もあり、1885(明治18)年に寺町丸太町上る(地図の●、現在は府立鴨沂高校の改築工事中の敷地)に移りました。伊藤博文や森有礼らが参加した移転式は盛大なものであったとのこと。2年後に、京都府中学校は京都府尋常中学校と改称されました。

○「京一中洛北高校百年史」より(原典:『京都府師範学校沿革史』)

校舎は純日本御殿式平屋建築で総檜造り、用材は木曾及び北桑田郡の※御料材から伐り出した節無し柱目の檜で、京都三建築の一と称せられ、其の結構の善美は市民賛嘆の的になって居た。

※御料材・・・皇室所有の森林